

施策評価・進捗管理調書(内部評価結果)

■ 第2次総合計画

基本方針(政策)	3	次世代エネルギーを活かし、環境未来都市をつくります
計画項目(施策)	8	ごみ・廃棄物の適正処理
〈施策分野〉		〈ごみ・廃棄物〉

所管部局	所管部局長の氏名
市民部	石嶋 政博
農林水産環境部	吉岡 茂昭

1. 総合計画で掲げている目的など **PLAN**

施策の目的	ごみの分別、減量や再資源化の推進に努め、できる限り廃棄物の最終処分量を減らすとともに、適正で安定した廃棄物処理体制を確立します。
施策方針(めざす姿)	市民一人ひとりが廃棄物の「排出者責任」を自覚しながら、「4R(リフューズ、リデュース、リユース、リサイクル)」に取り組める環境づくりを進めるとともに、廃棄物処理施設の適正かつ効率的な整備・運用を図ります。 ※リフューズ:購入拒否、リデュース:発生抑制、リユース:再使用、リサイクル:再生利用

【参考】施策に関連する個別計画

計画名称	計画概要	策定年月	計画期間	備考
京丹後市一般廃棄物処理基本計画	一般廃棄物(ごみ及び生活排水)の処理事業を行う際の基本的な考え方や施策目標、及び目標を達成するための主要施策・方針を定めたもの	平成19年3月	平成18年度～平成32年度	中間目標年度:平成22年度 平成26年度見直し
第2次京丹後市一般廃棄物処理基本計画	一般廃棄物(ごみ及び生活排水)処理に関する基本的な考え方や方向性を示し、目標と目標を達成するための主要な施策を定めたもの	平成27年3月	平成27年度～平成41年度	平成31年度を中間目標年次に設定
京丹後市環境基本計画	本市の環境に関する状況や市民・事業者等の環境に対する意見等を把握したうえで、本市の特性を生かし、環境の保全と環境資源を利用した地域活性化を目指した将来の目標を定めるとともに、その実現のための施策を効果的に推進することを目的に策定	平成22年2月	平成21年度～平成30年度	重点プロジェクトの期間は、平成25年度まで
京丹後市水洗化計画	効率的な事業の推進と公共用水域の水質保全、更には生活環境の改善を目的として平成18年9月に策定した「市水洗化計画」について、人口の減少、財政状況、国が定める経済比較に使用する費用関数と耐用年数の見直し、住民の意向を考慮した処理区の設定、水洗化普及率の早期向上等を踏まえ、新たな計画を策定した。	平成22年3月	平成22年度～平成32年度	

2. 行政の主な取組と構成事務事業一覧 **DO**

CHECK

行政の主な取り組み ↓	事務事業名称・事業内容(実績)	担当課	予算額(単位:千円)		事務事業の概要					評価結果		
			H26決算額	H27予算額 (一般財源)	根拠 法令	財政 負担	単独 事業	事業 種別	施策 貢献度	今後の 方向性		
① ごみの最終処分量削減と資源化の推進												
○ 生ごみ分別・資源化の拡大とそのためのインフラ整備、普及啓発に努めます。 ○ 雑がみの分別排出を推進します。 ○ 廃プラスチック、金属類の分別処理を検討します。												
1	古紙リサイクル推進事業【施策9(循環型社会)にも該当】	市民課	13,012	15,054 (5,000)	市規定	単費	○	サービス	S	拡大		
古紙回収団体へ回収実績に応じた補助金を交付(申請件数142件)												
2	小型家電リサイクル推進事業【施策9(循環型社会)にも該当】	市民課	320	216 -	国規定	単費	○	サービス	S	拡大		
小型家電リサイクル法に基づき小型家電の分別回収、リサイクルを実施(処理量67.1t)												
3	清掃総務一般経費	市民課	6,636	6,901 (6,901)	なし	単費	○	サービス	S	現状維持		
地元自治会での分別指導の啓発・指導実施(ステーション数414か所)に対し協力謝金を支払い												
4	資源循環推進事業【再掲】【施策9(循環型社会)にも該当】	環境バイオマス推進課	6,178	6,466 (6,466)	なし	単費	○	サービス	A	拡大		
エコエネルギーセンターを活用した市内の生ごみの資源化を実証(対象:8地区286世帯、実績:15.0t/年)												
② 廃棄物処理体制等の充実												
○ 既存廃棄物処理施設の長寿命化と次期施設の整備計画の検討を進めます。 ○ 不法投棄、不法焼却の防止対策に努めます。 ○ し尿汚泥の資源化活用を検討します。また、し尿処理施設の運営方法の見直しを検討します。												
5	不法投棄対策事業【施策6(自然環境)にも該当】	市民課	252	368 (368)	国規定	単費	○	サービス	A	現状維持		
不法投棄防止啓発看板の設置(30枚)、不法投棄された廃棄物の回収(20件)を実施												
6	家庭ごみ収集運搬事業	市民課	214,875	243,665 (170,565)	義務	単費	○	-	S	拡大		
市指定ごみ袋の製造・販売事務、ごみの収集運搬業務												
7	峰山クリーンセンター管理運営事業	市民課	489,277	484,366 (444,749)	義務	単費	○	-	S	現状維持		
峰山クリーンセンターの管理運営(総搬入量18,069,540kg)												
8	峰山クリーンセンター管理運営事業【明許繰越】	市民課	-	7,678 (678)	平成26年度事業の一部を繰り越して実施する事業							
センターにおける灰運搬車両の購入												
9	峰山最終処分場管理運営事業	市民課	22,258	24,204 (21,538)	義務	単費	○	-	S	現状維持		
峰山最終処分場の管理運営(総搬入量1,116,960kg)												
10	大宮最終処分場管理運営事業	市民課	26,772	32,190 (27,059)	義務	単費	○	-	S	現状維持		
大宮最終処分場の管理運営(総搬入量1,338,130kg)												
11	大宮最終処分場管理運営事業【明許繰越】	市民課	-	3,066 (166)	平成26年度事業の一部を繰り越して実施する事業							
処分場における廃棄物運搬車両の購入												

12	網野最終処分場管理運営事業 網野最終処分場の管理運営(総搬入量1,361,590kg)	市民課	60,515	70,561 (66,728)	義務	単費	○	—	S	現状維持
13	久美浜最終処分場管理運営事業 久美浜最終処分場の管理運営(総搬入量645,580kg)	市民課	36,881	38,558 (36,704)	義務	単費	○	—	S	現状維持
14	有害ごみ処理事業 使用済み乾電池等の処理経費(リサイクル処分量:乾電池36,640kg)	市民課	3,717	5,560 (5,560)	国規定	単費	○	維持管理	S	現状維持
15	その他公共施設災害復旧事業【明許繰越】 網野最終処分場の法面工事	市民課	3,312	—	なし	単費	○	維持管理	A	終了・廃止
16	廃棄物処理施設環境整備事業【再編交付金活用事業】 最終処分場コンピュータ管理システム更新・機器更新、衛生センターシステム機器更新等	市民課/衛生センター	—	63,498 (3,298)	新規事業					
17	塵芥処理一般経費 旧尾坂理立処分場湧水処理施設の維持管理・水質等検査、矢田地区旧不燃物処理場の水質等検査	市民課	862	1,041 (1,041)	なし	単費	○	維持管理	A	現状維持
18	し尿収集事業 市内の各衛生センターにおけるし尿収集業務経費(し尿収集量27,915kl)	衛生センター	194,829	186,791 (87,693)	義務	単費	○	—	A	現状維持
19	網野衛生センター管理運営事業 網野町のし尿処理、浄化槽汚泥の処理業務・施設管理(し尿収集量9,820kl、浄化槽汚泥2,589kl)	衛生センター	91,820	95,059 (54,336)	義務	単費	○	—	A	現状維持
20	竹野川衛生センター管理運営事業 峰山・大宮・弥栄・丹後町域のし尿処理・浄化槽汚泥処理、市内全域の公共下水道汚泥処理	衛生センター	163,556	173,466 (77,721)	義務	単費	○	—	A	現状維持
21	久美浜衛生センター管理運営事業 久美浜町のし尿処理、浄化槽汚泥の処理及び施設管理(し尿収集量4,049kl、浄化槽汚泥3,623kl)	衛生センター	70,135	80,009 (38,417)	義務	単費	○	—	A	現状維持
計			1,399,029	1,532,251 (1,048,522)						

※ 合計金額には再掲事業を含んでいません。

【参考】総合計画で掲げている市民等の役割

市民等の役割	① 廃棄物処理量削減のための4R(リフューズ、リデュース、リユース、リサイクル)の実践に努めます。 ② ごみの減量、資源化に向けた分別を推進します。
--------	---

【参考】個別計画で掲げている目標値

指標名	説明・備考	単位	計画作成時		実績値(現状)		目標値	
			年度	年度	年度	年度		
京丹後市一般廃棄物処理基本計画								
本市におけるごみの排出量	目標値(H22:22,478t/年)	t/年	24,918	H17	26,748	H26	22,478	H32
本市におけるリサイクル率	目標値(H22:25.0%)	%	23.7	H17	16.9	H26	30.0	H32
本市における焼却処理量	目標値(H22:17,107t/年)	t/年	18,243	H17	16,724	H26	16,821	H32
本市における最終処分量	目標値(H22:5,119t/年)	t/年	6,534	H17	4,163	H26	3,657	H32
生活排水処理率	水洗化・生活雑排水処理人口/計画処理区域内人口、(H22目標値:46.7%)	%	29.5	H17	50.5	H26	84.9	H32
し尿処理量	H22目標値:28,361kl/年	kl/年	36,591	H17	27,923	H26	14,398	H32
浄化槽汚泥処理量	H22目標値:9,454kl/年	kl/年	11,738	H17	12,051	H26	13,727	H32
下水道汚泥処理量	H22目標値:387t/年	t/年	307	H17	1,543	H26	2,376	H32
第2次京丹後市一般廃棄物処理基本計画								
ごみの年間排出量(古紙を含む)	中間目標年度(H31)の目標:24,565t/年	t/年	27,894	H25	26,748	H26	21,135	H41
ごみの年間排出量(古紙を除く)	中間目標年度(H31)の目標:21,075t/年	t/年	25,104	H25	24,133	H26	18,132	H41
1日1人当たりのごみ排出量(古紙を含む)	中間目標年度(H31)の目標:1,235.1g/日	g/日	1297.9	H25	1261.2	H26	1235.0	H41
1日1人当たりのごみ排出量(古紙を除く)	中間目標年度(H31)の目標:1,168.1g/日	g/日	1168.1	H25	1137.9	H26	1059.5	H41
再生利用率(リサイクル率)(古紙を含む)	中間目標年度(H31)の目標:27.6%	%	16.9	H25	16.9	H26	27.6	H41
再生利用率(リサイクル率)(古紙を除く)	中間目標年度(H31)の目標:15.6%	%	7.7	H25	7.7	H26	15.6	H41
焼却処理量	中間目標年度(H31)の目標:14,491t/年	t/年	18,808	H25	16,724	H26	12,469	H41
最終処理量	中間目標年度(H31)の目標:5,669t/年	t/年	7,464	H25	4,163	H26	4,871	H41
京丹後市環境基本計画								
不法投棄・焼却苦情件数	環境に負荷を与えない暮らしをするまち	件	33	H20	18	H26	23	H30
ごみの排出量(1人/日当たり)	限りある資源を有効に活用するまち	g	1,030	H20	1261.2	H26	1,000g以下	H30
ごみ減量優良協力店認定数	限りある資源を有効に活用するまち	店舗	0	H20	0	H26	20	H30

3. 総合計画で掲げている施策方針(めざす姿)とめざす目標値

施策方針(めざす姿)	市民一人ひとりが廃棄物の「排出者責任」を自覚しながら、「4R(リフューズ、リデュース、リユース、リサイクル)」に取り組める環境づくりを進めるとともに、廃棄物処理施設の適正かつ効率的な整備・運用を図ります。 ※リフューズ:購入拒否、リデュース:発生抑制、リユース:再利用、リサイクル:再生利用							
めざす目標値	指標名	単位	計画作成時		実績値(現状)		目標値	
			年度		年度		年度	
	一般廃棄物総排出量(年) ※し尿・浄化槽汚泥を除く	t	27,894	H25	26,713	H26	22,844	H36
	一般廃棄物焼却量(年) ※し尿・浄化槽汚泥を除く	t	18,808	H25	16,724	H26	13,477	H36
	ごみの再資源化率	%	16.9	H25	16.8	H26	27.6	H36

4. 施策方針(めざす姿)に対する現状評価

CHECK

施策方針(めざす姿)に対する主な成果(アウトカム)	施策方針(めざす姿)の達成に向けての課題
○平成26年4月から「雑がみ」分別の取組を開始し(平成26年度回収量11t)、4R活動を推進した。 ○平成26年6月30日をもって告示産廃のうち「家屋解体ごみ(畳を含む)」の受け入れを中止し、廃棄物処理施設の処理負荷を軽減した。 ○市の一般廃棄物処理施設の適正かつ安定的稼働に努め、生活環境の保全と公衆衛生の向上についての市の統括的処理責任を果たした。	○廃棄物処理に係る歳出抑制のためにもごみ減量・分別、4R活動推進に向けての広報や住民説明を行う必要がある。 ○「生ごみ」「硬質廃プラスチック」「金属類ごみ」等の排出・収集運搬体制等の検討。 ○最終処分場の延命化に向けての方策の検討。 ○生ごみ資源化取組の段階的拡大へ向けて破袋分別機の新規導入、有害鳥獣対策、分別精度の向上などの検討。

5. 施策の進捗状況の評価[施策方針(めざす姿)の達成に向け、施策がどの程度進捗しているか]

CHECK

進捗状況区分	評価	理由
◎ 予定以上に進んでいる	▲	○ごみの排出量については一般廃棄物処理基本計画に掲げる目標値に近い数値となっているものの、リサイクル率は横ばいの状況になっていることから、少し遅れていると判断する。 ○なお、生ごみ資源化の取組については、めざす目標値に掲げる指標について、平成26年度の目標世帯数は500世帯であるが、年度末実績は286世帯であり、実績が想定より低い状況にある(ただし、年度内調整により平成27年度当初の取組世帯は700世帯を超えており、年度目標の1,000世帯も達成できると見込んでいる)。
○ 予定どおり進んでいる		
▲ 少し遅れている		
× 大幅に遅れている		

6. 今後の施策展開と歳出抑制の考え方(平成28~30年度までの3か年の主な取組)

ACT

区分	No.	具体的内容	説明(特定財源名、補完・代替措置等)
施策展開の考え方	1	稼働期間延長に伴い、峰山クリーンセンター基幹的設備改良工事を実施し、処理能力の回復を図る。	環境省二酸化炭素排出抑制対策事業費交付金
	2	年次目標に沿って、生ごみ資源化対象世帯数を段階的に拡大する。	
歳出抑制(歳入確保)の考え方			

予算科目	04衛生費	02清掃費	01清掃総務費	02古紙リサイクル推進事業																													
細事業名	01 古紙リサイクル推進事業			決算書	P.202																												
総合計画	基本方針 II 環境循環都市		計画項目	④ 循環型社会の構築																													
決算額	①	最終予算額	②	不用額	(②-①)																												
13,012千円		13,869千円		857千円	93.8%																												
					(参考)当初予算額 16,598千円																												
目的	再資源化可能な古紙の回収活動団体に補助金を交付することで、市民のごみ減量意識の高揚を図るとともに再資源化を促し、焼却ごみ量の抑制を図る。																																
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>共同作業所、小中学校PTA、婦人会等古紙回収団体に対し、回収量に応じた補助金を交付した。</p> <p>○需用費 98千円 ・消耗品費（古紙回収コンテナ） 98千円</p> <p>○負担金、補助金及び交付金 12,914千円 ・古紙回収団体補助金（5円/kg×2,583t） 申請件数（延べ） 142件 交付団体数 53団体</p> <p>【内訳】 (単位：t)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>新聞紙</th> <th>段ボール</th> <th>雑誌</th> <th>紙パック</th> <th>雑がみ</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td>965</td> <td>981</td> <td>613</td> <td>13</td> <td>11</td> <td>2,583</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>1,030</td> <td>1,064</td> <td>673</td> <td>23</td> <td></td> <td>2,790</td> </tr> <tr> <td>H24</td> <td>1,127</td> <td>764</td> <td>1,069</td> <td>18</td> <td></td> <td>2,978</td> </tr> </tbody> </table>					年度	新聞紙	段ボール	雑誌	紙パック	雑がみ	合計	H26	965	981	613	13	11	2,583	H25	1,030	1,064	673	23		2,790	H24	1,127	764	1,069	18		2,978
年度	新聞紙	段ボール	雑誌	紙パック	雑がみ	合計																											
H26	965	981	613	13	11	2,583																											
H25	1,030	1,064	673	23		2,790																											
H24	1,127	764	1,069	18		2,978																											
主な財源	諸収入	オータムジャンボくじ市町村等交付金			9,822千円																												
	諸収入	資源回収の古紙販売代金			187千円																												
評価・課題等	<p>○補助金交付により、古紙の再資源化の促進と市民のリサイクル意識の向上の一助となった。また、平成26年4月から「雑がみ」を分別品目に加え、市民に分別を呼び掛け、雑がみの資源化に向けた取組を進めた。</p> <p>○峰山クリーンセンターの焼却ごみの組成中、「紙・布類」は46.6%を占めていることから、施設の処理負荷軽減及び最終処分場の延命（焼却灰の減量）を図るため、さらに「雑がみ」の分別・再資源化を推し進める必要がある。</p>																																
事業所管課	市民部／市民課																																

予算科目	04衛生費	02清掃費	01清掃総務費	04小型家電リサイクル推進事業	
細事業名	01 小型家電リサイクル推進事業			決算書	P.202
総合計画	基本方針 II 環境循環都市		計画項目	④ 循環型社会の構築	
決算額	①	最終予算額	②	不用額	(②-①)
320千円		320千円		0千円	100.0%
					(参考)当初予算額 141千円
目的	使用済小型電子機器等の再資源化の促進に関する法律に基づき、携帯電話やデジタルカメラ等の小型廃家電を分別回収・リサイクルすることで、有用金属の再資源化を図る。				
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>分別回収した小型廃家電を国の認定事業者へ運搬し、売却処分した。</p> <p>◎役務費 320千円 ○小型電子機器運搬・処理（リサイクル）手数料 ・処理量：67.1t（うち、17.8tは市内小中学校のPC分） ・売却単価：6円/kg ・運搬手数料単価：6円/kg</p>				
主な財源	諸収入	資源ごみ売却代金			435千円
評価・課題等	<p>○小型廃家電を分別回収し、売却処分することで、効率的に小型廃家電の再資源化を図ることができ、埋め立てごみの抑制ができた。</p> <p>○有用金属の回収・再資源化を推進するため、さらに周知を行い、制度の定着を図る必要がある。</p>				
事業所管課	市民部／市民課				

予算科目	04衛生費	02清掃費	01清掃総務費	50清掃総務一般経費	
細事業名	01 清掃総務一般経費			決算書	P.202
総合計画	基本方針 II 環境循環都市		計画項目	③ ごみ・廃棄物対策	
決算額	①	最終予算額	②	不用額	(②-①)
6,636千円		6,710千円		74千円	
				98.8%	(参考)当初予算額 6,982千円
目的	各自治会による資源ごみステーションの管理及び分別指導の実施、また廃棄物減量等推進審議会で諸施策について検討等を行い、市域のごみの適正処理を推進する。				
主要な 事務・事業 及び 成果の 概要	○報酬 228 千円				
	・廃棄物減量等推進審議会委員報酬（委員数25人） 諮問内容：第2次一般廃棄物処理基本計画について 開催回数：3回				
	○報償費 6,177 千円				
	・報償金（廃棄物減量等協力謝金） 廃棄物減量等協力謝金支払い実績				
		ステーション数	協力謝金	※地区ごとの「資源ごみステーション数×6,500円」 又は「住基人口×100円」 のいずれか多い額を支払った。	
	峰山市民局管内	49 箇所	1,290 千円		
	大宮市民局管内	38 箇所	1,063 千円		
	網野市民局管内	91 箇所	1,459 千円		
	丹後市民局管内	101 箇所	694 千円		
	弥栄市民局管内	35 箇所	577 千円		
久美浜市民局管内	100 箇所	1,094 千円			
計	414 箇所	6,177 千円			
○旅費 67 千円					
・費用弁償（廃棄物減量等推進審議会委員） 26 千円					
・職員出張旅費 41 千円					
○需用費 142 千円					
・消耗品費（実務便覧等追録）					
○負担金 10 千円					
・京都府廃棄物対策協議会負担金					
○その他 12 千円					
・火災保険料 6千円 ・有料道路通行料 6千円					
主な財源					
評価・課題等	○廃棄物減量等推進審議会からの答申を踏まえ、第2次一般廃棄物処理基本計画（計画期間：平成27～41年度）を策定することができた。 ○各地区内の資源ごみステーションにおける分別指導及びステーションの管理を地元自治会の協力を得て行うことにより、資源ごみの分別収集を円滑に行うことができた。				
事業所管課	市民部／市民課				

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	07環境衛生費	13資源循環推進事業	
細事業名	01 資源循環推進事業			決算書	P.192
総合計画	基本方針 II 環境循環都市		計画項目	④ 循環型社会の構築	
決算額	①	最終予算額	②	不用額	(②-①)
6,178千円		6,219千円		41千円	
				99.3%	(参考)当初予算額 17,297千円
目的	エコエネルギーセンターを活用した市内全域の生ごみ資源化推進及び液肥活用による資源循環型農業を推進する。				
主要な 事務・事業 及び 成果の 概要	生ごみ資源化・ゼロエミッション推進検討委員会で定めた「平成30年度に市内全域の家庭系生ごみの全量資源化」という目標に向け、対象地区の拡大へ向けて啓発を推進するとともに、分別生ごみを効率的に処理するための設備整備を行った。				
	○生ごみ資源化事業 2,282 千円				
	・消耗品費（液肥タンク設置費用等） 1,264 千円				
	・液肥タンク液肥運搬手数料 12 千円				
	・PRビデオ作成委託料 177 千円				
	・生ごみ処理委託料 829 千円				
	【家庭生ごみ】 対象：8地区286世帯（参考：H27.4から757世帯に拡大） 内容：家庭生ごみを所定の方法で分別収集し資源化する 実績：15t/年 その他：各協力地区に液肥タンクを設置、地区・団体での講座開催など				
	【学校等生ごみ】 対象：市内全保育所・幼稚園・小学校・中学校 内容：給食調理の際に発生する生ごみを分別収集し資源化する 実績：20t/年（H26.8から取組開始）				
	○破袋分別機の導入 3,896 千円				
	・破袋分別機購入 1,620 千円				
・破袋分別機移設改修 2,276 千円					
主な財源	繰入金	地域の元気づくり基金繰入金			3,500千円
評価・課題等	○PRビデオの作成なども含め普及啓発を推進した結果、生ごみ分別参加世帯を増加させることができた。 ○レンタルで使用してきた破袋分別機を購入及び改造移設することにより、資源化できない混入異物の分別を容易にし、より効率的に処理する体制を整備することができた。 ○今後、市内全域を対象とした生ごみ資源化に向け、市民への普及啓発と分別収集運搬体制や受け入れ施設の整備を引き続き検討していく必要がある。				
事業所管課	農林水産環境部／環境バイオマス推進課				

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	07環境衛生費	03環境美化保全対策事業	
細事業名	02 不法投棄対策事業			決算書	P.190
総合計画	基本方針 II 環境循環都市		計画項目	③ ごみ・廃棄物対策	
決算額	①	最終予算額	②	不用額	(②-①)
252千円		276千円		24千円	91.3%
				(参考)当初予算額	363千円
目的	不法投棄抑止啓発看板等の設置による啓発並びに不法投棄物の行為者特定及び撤去・回収を実施することで、不法投棄防止対策を進める。				
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>不法投棄の発生防止を目的に、各地区と協力して看板設置を行うとともに不法投棄された物品について行為者の特定に努め、特定に至ったケースについては警察へ移送した。また、更なる不法投棄の誘発を防ぐべく廃棄物の撤去・回収にあたった（市民部の回収件数20件）。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○需用費 156千円 <ul style="list-style-type: none"> ・消耗品費（不法投棄防止看板30枚） ○役務費 96千円 <ul style="list-style-type: none"> ・手数料（タイヤ213本処分費） 				
主な財源					
評価・課題等	<p>○啓発看板設置等により不法投棄防止啓発を行うとともに、行為者の特定及び不法投棄物の回収撤去により地域の環境保全に努めることができた。</p> <p>○地域に対し、普段から環境美化及び監視等協力を求めることで、地域ぐるみでの発生を抑制することができた。</p> <p>○「ごみ排出者の責任」及び「不法投棄は犯罪である」旨の啓発を継続的に行い、発生防止を図る必要がある。</p>				
事業所管課	市民部／市民課				

予算科目	04衛生費	02清掃費	02塵芥処理費	02家庭ごみ収集運搬事業													
細事業名	01 家庭ごみ収集運搬事業			決算書	P.204												
総合計画	基本方針 II 環境循環都市		計画項目	③ ごみ・廃棄物対策													
決算額	①	最終予算額	②	不用額	(②-①)												
214,875千円		214,969千円		94千円	99.9%												
				(参考)当初予算額	216,170千円												
目的	一般廃棄物処理基本計画に基づきごみのステーション収集を行うとともに、指定ごみ袋及び分別ポスター・カレンダーを作成し、ごみの分別と適正処理を推進する。																
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>指定ごみ袋の作成ならびに販売店への委託により市民へ提供した。また、廃棄物処理法に基づき一般廃棄物収集運搬業務を民間業者へ委託し的確な家庭ごみの収集運搬を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○需用費 19,017千円 <ul style="list-style-type: none"> ・消耗品 18,614千円 <ul style="list-style-type: none"> （可燃ごみ袋…大177.5万枚、小72.5万枚、ミニ18万枚 不燃ごみ袋…大11.5万枚、資源ごみ回収ボックス120個等） ・印刷製本費（ごみ収集カレンダー、25,330部） 403千円 <ul style="list-style-type: none"> （ごみ分別ポスター、25,000部） ○役務費 7,203千円 <ul style="list-style-type: none"> ・手数料 <ul style="list-style-type: none"> （ごみ袋販売手数料） ごみ袋販売委託業者（H27.3.31現在）164業者（193店舗） <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>大</th> <th>小</th> <th>ミニ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>可燃</td> <td>1,597,500枚</td> <td>623,500枚</td> <td>162,000枚</td> </tr> <tr> <td>不燃</td> <td>101,330枚</td> <td>41,020枚</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ○委託料 188,650千円 <ul style="list-style-type: none"> ・一般廃棄物収集運搬委託料（7業者） <ul style="list-style-type: none"> （家庭ごみ収集運搬業務） ○償還金利子及び割引料 5千円 <ul style="list-style-type: none"> （ごみ袋取扱店廃業に伴う残存在庫品の販売代金返還金） 						大	小	ミニ	可燃	1,597,500枚	623,500枚	162,000枚	不燃	101,330枚	41,020枚	
	大	小	ミニ														
可燃	1,597,500枚	623,500枚	162,000枚														
不燃	101,330枚	41,020枚															
主な財源	手数料	可燃ごみ（ごみ袋）処理手数料			63,111千円												
	手数料	粗大ごみ処理手数料			3千円												
	手数料	一般廃棄物収集運搬業許可手数料			130千円												
	手数料	不燃ごみ（ごみ袋）処理手数料			3,885千円												
評価・課題等	<p>○指定ごみ袋の販売業務を委託することで、市民に身近な場所でごみ袋の販売を行い、利便性を確保することができた。</p> <p>○雑がみや小型家電等新たな分別品目も加えた分別ポスターを製し、再資源化の推進と市民啓発を図ることができた。</p> <p>○より一層の分別推進と一般廃棄物処理の的確かつ安定履行により、ごみの適正処理と減量化ならびに地域の衛生環境の保全を継続的に確保する必要がある。</p>																
事業所管課	市民部／市民課																

予算科目	04衛生費	02清掃費	02塵芥処理費	03峰山刈-リサイクル-管理運営事業
細事業名	01 峰山刈-リサイクル-管理運営事業			決算書 P.204
総合計画	基本方針	Ⅱ 環境循環都市	計画項目	③ ごみ・廃棄物対策
決算額	①	最終予算額	②	不用額 (②-①)
489,277千円		497,601千円		8,324千円
			執行率	(参考) 当初予算額
			98.3%	505,803千円

目的	中間処理（焼却、分別保管）施設の維持管理業務を行い、市内で発生する可燃ごみ及び資源ごみを円滑、適正な処理を行う。																																										
	市内で発生する一般廃棄物（可燃ごみ・資源ごみ）を処理するため、施設の運営及び維持管理等を行った。																																										
主要な事務・事業及び成果の概要	<ul style="list-style-type: none"> ○クリーンセンター運営管理委託料 247,931 千円 ○クリーンセンター整備工事設計監理委託料 2,484 千円 ○クリーンセンター整備工事費（焼却施設修繕・維持工事） 123,790 千円 ○汚染負荷量賦課金 457 千円 ○その他の経費（薬品代、光熱水費、地元対策交付金等） 114,615 千円 																																										
	<p>【峰山クリーンセンター搬入状況】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">総搬入量</th> <th colspan="2">業者持込</th> <th colspan="2">直接持込</th> </tr> <tr> <th>重量 (t)</th> <th>対前年度比</th> <th>重量 (t)</th> <th>重量 (t)</th> <th>重量 (t)</th> <th>重量 (t)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td>18,070</td> <td>△3.9%</td> <td>10,723</td> <td></td> <td>7,347</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>18,808</td> <td>△0.5%</td> <td>10,679</td> <td></td> <td>8,129</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H24</td> <td>18,897</td> <td>2.5%</td> <td>11,143</td> <td></td> <td>7,754</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>○可燃ごみ焼却量 16,724 t ○資源ごみ処理量 948 t アルミ缶 45t 茶色ビン 186t その他プラスチック容器 272t 無色ビン 188t スチール缶 75t その他ビン 67t 発泡スチロール 17t PETボトル 98t <ダイオキシン類測定調査結果(H26.9.25・26、10/29測定)> 1～4号炉排ガス・焼却灰、飛灰は全て基準値(0.1ng-TEQ/Nm³)以下の数値を計測</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>参考</td> <td>繰越明許費を除いた最終予算額</td> <td>489,923千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>実質的な予算執行率</td> <td>99.9%</td> </tr> </table> <p>■平成27年度への繰越事業 灰運搬用車両購入経費 7,678千円 ※平成27年11月完了予定</p>					総搬入量		業者持込		直接持込		重量 (t)	対前年度比	重量 (t)	重量 (t)	重量 (t)	重量 (t)	H26	18,070	△3.9%	10,723		7,347		H25	18,808	△0.5%	10,679		8,129		H24	18,897	2.5%	11,143		7,754		参考	繰越明許費を除いた最終予算額	489,923千円		実質的な予算執行率
	総搬入量		業者持込			直接持込																																					
	重量 (t)	対前年度比	重量 (t)	重量 (t)	重量 (t)	重量 (t)																																					
H26	18,070	△3.9%	10,723		7,347																																						
H25	18,808	△0.5%	10,679		8,129																																						
H24	18,897	2.5%	11,143		7,754																																						
参考	繰越明許費を除いた最終予算額	489,923千円																																									
	実質的な予算執行率	99.9%																																									
主な財源	使用料	公有財産使用料	65千円																																								
	手数料	峰山刈-リサイクル-持込ごみ処理手数料	31,357千円																																								
	繰入金	地域の元気づくり基金繰入金	67,200千円																																								
	諸収入	資源ごみ売却代金	16,627千円																																								
評価・課題等	○焼却処理に伴う排ガス中のダイオキシン類を含む公害関係の検査結果は全て定基準値内であり、市内で発生する可燃ごみ及び資源ごみを安全かつ適正に処理できた。 ○市内小学生等対象の施設見学会を実施し(20校、1団体)ごみ減量の啓発ができた。																																										
事業所管課	市民部/市民課																																										

予算科目	04衛生費	02清掃費	02塵芥処理費	04峰山最終処分場管理運営事業
細事業名	01 峰山最終処分場管理運営事業			決算書 P.206
総合計画	基本方針	Ⅱ 環境循環都市	計画項目	③ ごみ・廃棄物対策
決算額	①	最終予算額	②	不用額 (②-①)
22,258千円		22,796千円		538千円
			執行率	(参考) 当初予算額
			97.6%	23,322千円

目的	浸出水処理施設等の適正な維持管理を行い、市内で発生する不燃ごみ及び不燃性粗大ごみを適正に処理（埋立・再資源化）する。																																				
	峰山最終処分場では、主に峰山町地域から搬入された不燃ごみの埋立処理を行った。また、再生可能な廃棄物（金属類や廃家電品）の分別を行い、再資源化に向けた持出処理を行ったことにより、埋立ごみの抑制と再資源化の向上ができた。																																				
主要な事務・事業及び成果の概要	<ul style="list-style-type: none"> ○最終処分場運営管理委託料 9,230 千円 ○水質検査等委託料（ダイオキシン類含む） 941 千円 ○汚泥脱水機修繕工事 2,160 千円 ○資源ごみ（廃家電・廃プラスチック品）処理手数料 365 千円 ○その他の経費（薬品代、光熱水費、施設運用協力金等） 9,562 千円 																																				
	<p>【峰山最終処分場搬入状況】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">総搬入量</th> <th colspan="2">業者持込</th> <th colspan="2">直接持込</th> </tr> <tr> <th>重量 (t)</th> <th>対前年度比</th> <th>重量 (t)</th> <th>重量 (t)</th> <th>重量 (t)</th> <th>重量 (t)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td>1,117</td> <td>39.5%</td> <td>129</td> <td></td> <td>988</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>801</td> <td>△22.8%</td> <td>137</td> <td></td> <td>664</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H24</td> <td>1,037</td> <td>29.6%</td> <td>141</td> <td></td> <td>896</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p><放流水及び地下水ダイオキシン類測定結果> (H26.10.17測定) 全て基準値(放流水:10pg-TEQ/l、地下水:上流・下流1pg-TEQ/l)を下回る数値を計測 <リサイクル処理量> 金属類(売却) 43t 廃家電品(処分) 6t 廃プラスチック(処分) 4t</p>					総搬入量		業者持込		直接持込		重量 (t)	対前年度比	重量 (t)	重量 (t)	重量 (t)	重量 (t)	H26	1,117	39.5%	129		988		H25	801	△22.8%	137		664		H24	1,037	29.6%	141		896
	総搬入量		業者持込			直接持込																															
	重量 (t)	対前年度比	重量 (t)	重量 (t)	重量 (t)	重量 (t)																															
H26	1,117	39.5%	129		988																																
H25	801	△22.8%	137		664																																
H24	1,037	29.6%	141		896																																
主な財源	手数料	峰山最終処分場持込ごみ処理手数料	2,173千円																																		
	諸収入	資源ごみ売却代金	1,213千円																																		
評価・課題等	○市内で発生する不燃ごみ及び不燃性粗大ごみを適正に処理することができた。 ○浸出水処理施設から放流する水質の検査結果は、いずれも法定基準値内であり、施設の安全稼働ができた。 ○施設の稼働予定年限は平成27年度末であるが、埋立残余量(H27.1月現在65%終了)を踏まえ、埋立ごみ減量化に向けた取組を推進するとともに、地元区に対し稼働期間の延長を協議する必要がある。																																				
事業所管課	市民部/市民課																																				

予算科目	04衛生費	02清掃費	02塵芥処理費	05大宮最終処分場管理運営事業	
細事業名	01 大宮最終処分場管理運営事業			決算書 P.206	
総合計画	基本方針 II 環境循環都市		計画項目	③ ごみ・廃棄物対策	
決算額	①	最終予算額	②	不用額 (②-①)	
26,772千円		29,966千円		3,194千円	
			執行率	(参考) 当初予算額	
			89.3%	25,427千円	
目的	浸出水処理施設等の適正な維持管理を行い、市内で発生する不燃ごみ及び不燃性粗大ごみを適正に処理(埋立・再資源化)する。				
主要な 業務・事業 及び 成果の 概要	大宮最終処分場では、主に大宮町地域から搬入された不燃ごみの埋立処理を行った。また、再生可能な廃棄物(金属類や廃家電品)の分別を行い、再資源化に向けた持出処理を行ったことにより、埋立ごみの抑制と再資源化の向上ができた。				
	○最終処分場運営管理委託料 14,612 千円				
	○水質検査等委託料(ダイオキシン類含む) 467 千円				
	○資源ごみ(廃家電・廃プラスチック品)処理手数料 293 千円				
	○その他の経費(薬品代、光熱水費、施設運用協力金等) 11,400 千円				
	【大宮最終処分場搬入状況】				
		総搬入量		業者持込	直接持込
		重量(t)	対前年度比	重量(t)	重量(t)
	H26	1,338	△23.6%	120	1,218
	H25	1,752	△7.4%	113	1,639
H24	1,891	2.5%	126	1,765	
<放流水及び地下水ダイオキシン類測定結果>(H26.10.23測定)					
全て基準値(放流水:10pg-TEQ/ℓ、地下水上流・下流1pg-TEQ/ℓ)を下回る数値を計測					
<リサイクル処理量>					
金属類(売却) 26t 廃家電品(処分) 9t 廃プラスチック(処分) 3t					
	参考	繰越明許費を除いた最終予算額	26,900千円		
		実質的な予算執行率	99.5%		
■平成27年度への繰越事業					
廃棄物運搬用車両購入経費 3,066千円 ※平成28年2月完了予定					
主な 財源	手数料	大宮最終処分場持込ごみ処理手数料	4,844千円		
	諸収入	資源ごみ売却代金	670千円		
評価・ 課題等	○不燃ごみ及び不燃性粗大ごみを適正に処理することができた。				
	○浸出水処理施設から放流する水質の検査結果は、いずれも法定基準値内であり、施設の安全稼働ができた。				
	○施設の稼働予定年限である平成34年度末に向けて埋立残余量(H27.2月現在66%終了)監視を行いながら、埋立ごみ減量化に向けた取組を推進するとともに、将来の施設計画についても検討を始める必要がある。				
	事業所管課 市民部/市民課				

予算科目	04衛生費	02清掃費	02塵芥処理費	06網野最終処分場管理運営事業	
細事業名	01 網野最終処分場管理運営事業			決算書 P.208	
総合計画	基本方針 II 環境循環都市		計画項目	③ ごみ・廃棄物対策	
決算額	①	最終予算額	②	不用額 (②-①)	
60,515千円		61,231千円		716千円	
			執行率	(参考) 当初予算額	
			98.8%	66,450千円	
目的	浸出水処理施設等の適正な維持管理を行い、市内で発生する不燃ごみ及び不燃性粗大ごみを適正に処理(埋立・再資源化)する。				
主要な 業務・事業 及び 成果の 概要	網野最終処分場では、主に網野・丹後・弥栄町地域から搬入された不燃ごみの埋立処理を行った。また、再生可能な廃棄物(金属類や廃家電品)の分別を行い、再資源化に向けた持出処理を行ったことにより、埋立ごみの抑制と再資源化の向上ができた。				
	○最終処分場運営管理委託料 23,231 千円				
	○水質検査等委託料(ダイオキシン類含む) 2,110 千円				
	○浸出水処理施設整備工事(施設の修繕・保守点検等整備) 11,459 千円				
	○資源ごみ(廃家電品)処理手数料 305 千円				
	○その他の経費(水処理の薬品代、光熱水費、施設運用協力金等) 23,410 千円				
	【網野最終処分場搬入状況】				
		総搬入量		業者持込	直接持込
		重量(t)	対前年度比	重量(t)	重量(t)
	H26	1,362	△24.7%	263	1,099
H25	1,809	0.4%	273	1,536	
H24	1,801	△99.9%	288	1,513	
<放流水及び地下水ダイオキシン類測定結果>(H26.10.23測定)					
全て基準値(放流水:10pg-TEQ/ℓ、地下水上流・下流1pg-TEQ/ℓ)を下回る数値を計測					
<リサイクル処理量>					
金属類(売却) 64t 廃家電品(処分) 13t					
主な 財源	手数料	網野最終処分場持込ごみ処理手数料	2,689千円		
	諸収入	地域の元気づくり基金繰入金	9,000千円		
評価・ 課題等	○市内で発生する不燃ごみ及び不燃性粗大ごみを適正に処理することができた。				
	○浸出水処理施設から放流する水質の検査結果は、いずれも法定基準値内であり、施設の安全稼働ができた。				
	○施設の稼働予定年限である平成28年度末に向けて埋立残余量(H26.8月現在70%終了)の監視を行いながら、埋立ごみ減量化に向けた取組を推進するとともに、将来の施設計画についても検討を始める必要がある。				
	事業所管課 市民部/市民課				

予算科目	04衛生費	02清掃費	02塵芥処理費	07久美浜最終処分場管理運営事業
細事業名	01 久美浜最終処分場管理運営事業			決算書 P.210
総合計画	基本方針 II 環境循環都市		計画項目	③ ゴミ・廃棄物対策
決算額	①	最終予算額	②	不用額 (②-①)
36,881千円		37,125千円		244千円
				執行率 99.3%
				(参考) 当初予算額 38,109千円

目的	浸出水処理施設等の適正な維持管理を行い、市内で発生する不燃ごみ及び不燃性粗大ごみを適正に処理（埋立・再資源化）する。																										
	<p>久美浜最終処分場では、主に久美浜町地域から搬入された不燃ごみの埋立処理を行った。また、再生可能な廃棄物（金属類や廃家電品）の分別を行い、再資源化に向けた持出処理を行ったことにより、埋立ごみの抑制と再資源化の向上ができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○最終処分場運営管理委託料 21,578 千円 ○水質検査等委託料（ダイオキシン類含む） 1,018 千円 ○浸出水処理施設整備工事（施設の修繕・保守点検等整備） 4,558 千円 ○資源ごみ（廃家電品）処理手数料 67 千円 ○その他の経費（薬品代、光熱水費、施設運用協力金等） 9,660 千円 <p>【久美浜最終処分場搬入状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">総搬入量</th> <th>業者持込</th> <th>直接持込</th> </tr> <tr> <th>重量 (t)</th> <th>対前年度</th> <th>重量 (t)</th> <th>重量 (t)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td>646</td> <td>△7.7%</td> <td>113</td> <td>533</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>700</td> <td>7.4%</td> <td>126</td> <td>575</td> </tr> <tr> <td>H24</td> <td>652</td> <td>3.1%</td> <td>128</td> <td>524</td> </tr> </tbody> </table> <p><放流水及び地下水ダイオキシン類測定結果>（H26.10.23測定） 全て基準値（放流水：10pg-TEQ/ℓ、地下水・上流・下流1pg-TEQ/ℓ）を下回る数値を計測 <リサイクル処理量> 金属類（売却） 32t 廃家電品（処分） 3t</p>					総搬入量		業者持込	直接持込	重量 (t)	対前年度	重量 (t)	重量 (t)	H26	646	△7.7%	113	533	H25	700	7.4%	126	575	H24	652	3.1%	128
	総搬入量		業者持込	直接持込																							
	重量 (t)	対前年度	重量 (t)	重量 (t)																							
H26	646	△7.7%	113	533																							
H25	700	7.4%	126	575																							
H24	652	3.1%	128	524																							
主な財源	手数料	久美浜最終処分場持込みごみ処理手数料	777千円																								
	繰入金	地域の元気づくり基金繰入金	4,000千円																								
諸収入	資源ごみ売却代金	821千円																									
評価・課題等	<p>○市内で発生する不燃ごみ及び不燃性粗大ごみを適正に処理することができた。</p> <p>○浸出水処理施設から放流する水質の検査結果は、いずれも法定基準値内であり、施設の安全稼働ができた。</p> <p>○施設の稼働予定年限である平成36年度末に向けて埋立残余量（H26.11月現在48%終了）の監視を行いながら、埋立ごみ減量化に向けた取組を推進するとともに、将来の施設計画についても検討を始める必要がある。</p>																										
	事業所管課	市民部／市民課																									

予算科目	04衛生費	02清掃費	02塵芥処理費	08有害ごみ処理事業
細事業名	01 有害ごみ処理事業			決算書 P.210
総合計画	基本方針 II 環境循環都市		計画項目	③ ゴミ・廃棄物対策
決算額	①	最終予算額	②	不用額 (②-①)
3,717千円		4,021千円		304千円
				執行率 92.4%
				(参考) 当初予算額 4,021千円

目的	市内で発生する有害ごみ（使用済み乾電池、蛍光管）を適正に処理・再資源化する。																										
	<p>市内から発生する使用済み乾電池や蛍光管など水銀を含む製品を無害な処理及び処分を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○需用費 314 千円 消耗品費（蛍光管用蓋付きドラム缶、乾電池用蓋空きドラム缶等） ○委託料 3,403 千円 有害ごみ処理委託料 <ul style="list-style-type: none"> ・廃蛍光管・廃乾電池処理委託料 (65円/kg) 2,572 千円 ・廃蛍光管・廃乾電池運搬委託料 (21円/kg) 831 千円 <p>【乾電池及び蛍光管の処理状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">総搬入量</th> <th>乾電池</th> <th>蛍光管</th> </tr> <tr> <th>重量 (t)</th> <th>対前年度</th> <th>重量 (t)</th> <th>重量 (t)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td>36.6</td> <td>23.2%</td> <td>23.8</td> <td>12.9</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>29.7</td> <td>0.3%</td> <td>29.7</td> <td>0.0</td> </tr> <tr> <td>H24</td> <td>29.6</td> <td>△31.6%</td> <td>13.1</td> <td>16.5</td> </tr> </tbody> </table> <p>※平成25年度における蛍光管の処理は、処理見込量（約18トン）に達しなかったために実施せず。平成26年度実施。</p>					総搬入量		乾電池	蛍光管	重量 (t)	対前年度	重量 (t)	重量 (t)	H26	36.6	23.2%	23.8	12.9	H25	29.7	0.3%	29.7	0.0	H24	29.6	△31.6%	13.1
	総搬入量		乾電池	蛍光管																							
	重量 (t)	対前年度	重量 (t)	重量 (t)																							
H26	36.6	23.2%	23.8	12.9																							
H25	29.7	0.3%	29.7	0.0																							
H24	29.6	△31.6%	13.1	16.5																							
主な財源																											
評価・課題等	<p>有害ごみ（使用済み乾電池、蛍光管）を分別収集した後、専門の処理業者に委託し円滑かつ適正に処理し再資源化を行うことができた。</p>																										
	事業所管課	市民部／市民課																									

予算科目	11災害復旧費	05その他公共施設災害復旧費	01その他公共施設災害復旧費	01その他公共施設災害復旧事業
細事業名	01 その他公共施設災害復旧事業（繰越）			決算書 P.384
総合計画	基本方針	Ⅱ 環境循環都市	計画項目	③ ごみ・廃棄物対策
決算額	①	最終予算額	②	不用額 (②-①)
3,312千円		3,501千円		189千円
			執行率	(参考)当初予算額
			94.6%	3,501千円
目的	大雨で崩れた網野最終処分場の法面を復旧する。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>大雨で崩れた網野最終処分場の法面の復旧工事を行った。</p> <p>網野最終処分場法面災害復旧工事 3,312 千円</p>			
主な財源	市債	その他公共施設災害復旧事業債		3,300千円
評価・課題等	大雨で崩れた網野最終処分場の法面を修復工事し、原状に戻すことができた。			
事業所管課	市民部／市民課			

予算科目	04衛生費	02清掃費	02塵芥処理費	50塵芥処理一般経費
細事業名	01 塵芥処理一般経費			決算書 P.210
総合計画	基本方針	Ⅱ 環境循環都市	計画項目	③ ごみ・廃棄物対策
決算額	①	最終予算額	②	不用額 (②-①)
862千円		1,048千円		186千円
			執行率	(参考)当初予算額
			82.2%	1,048千円
目的	旧尾坂埋立処分地の湧水処理施設の維持管理及び水質等検査並びに旧不燃物処理場の検査を行うことで環境負荷を監視し、環境保全を図る。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>旧尾坂埋立処分地の湧水処理施設の保守管理（機器点検、薬品補充、沈殿物場外処分等）、旧不燃物処理場に係る井戸水及び排水重金属検査を行った。また、旧丹後半島清掃センター及び旧久美浜町清掃センターの汚染負荷量賦課金を支出した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○需用費 531 千円 <ul style="list-style-type: none"> ・消耗品費（薬品代：次亜塩素酸ソーダ・事務用品） 259 千円 ・光熱水費 272 千円 ○委託料 242 千円 <ul style="list-style-type: none"> ・水質検査等委託料（旧尾坂埋立処分地、旧不燃物処理場） ○使用料及び賃借料 35 千円 <ul style="list-style-type: none"> ・土地借上料（旧尾坂埋立処分地：地権者4人） ○公課費 54 千円 <ul style="list-style-type: none"> ・汚染負荷量賦課金（旧丹後半島清掃センター） 45 千円 ・汚染負荷量賦課金（旧久美浜町清掃センター） 9 千円 <p>※汚染負荷量賦課金 公害健康被害補償制度（昭和49年9月）により、補償給付及び公害保険福祉事業に必要な費用の相当分をばい煙発生施設設置者から徴収し、公害健康被害への補償へ充てるもの。賦課金の納付義務者は、昭和62年4月以前にばい煙発生施設等を設置し、更にその施設が硫酸化物を排出するもので、最大ガス量の合計が基準以上であった施設の設置者である。現在本市には、汚染負荷量賦課金対象施設は無いものの、当時ばい煙発生施設等を設置していた者には、施設の廃止後も、公害健康被害への補償が終了するまで賦課される。</p>			
主な財源				
評価・課題等	旧尾坂埋立処分地（網野町尾坂）跡、旧不燃物処理場（峰山町矢田）跡の水質等検査は法定のものではないが、今後も環境負荷への監視を継続する。			
事業所管課	市民部／市民課			

予算科目	04衛生費	02清掃費	03し尿処理費	02し尿収集事業	
細事業名	01 し尿収集事業			決算書	P.212
総合計画	基本方針 II 環境循環都市		計画項目	③ ごみ・廃棄物対策	
決算額	①	最終予算額	②	不用額	(②-①)
194,829千円		195,105千円		276千円	
				執行率	(参考)当初予算額
				99.8%	195,825千円

目的 竹野川衛生センター(峰山町、大宮町、丹後町、弥栄町域)、網野衛生センター(網野町域)、久美浜衛生センター(久美浜町域)の各施設において、し尿収集業務を行う。

主要な 事務・ 事業及 び成果 の概要	○竹野川衛生センター収集運搬事業(委託)	129,139千円
	・し尿収集運搬委託料(2社)	116,232千円
	・し尿処理券販売委託料(66か所)	3,508千円
	・その他収集関連経費(郵便、ハガキ等)	3,400千円
	・備品購入費(し尿収集管理システム更新)	5,999千円
	○網野衛生センター収集運搬事業(直営)	29,437千円
	・臨時職員賃金(4人)	10,541千円
	・し尿収集運搬車維持管理経費(5台) (消耗品費、燃料費、修繕料、登録手数料、自動車損害保険料等)	4,874千円
	・し尿処理券販売委託料(26か所)	1,969千円
	・その他収集関連経費(郵便、ハガキ等)	1,458千円
・備品購入費(し尿収集運搬車2車・1台)	10,595千円	
○久美浜衛生センター収集運搬事業(委託)	36,253千円	
・し尿収集運搬委託料(1社)	31,699千円	
・し尿処理券販売委託料(25か所)	1,210千円	
・その他収集関連経費(郵便、ハガキ等)	3,344千円	

[各衛生センターのし尿収集等実績] (し尿対象人口はH27,3,31現在)

区分	収集件数	収集量	収集委託	し尿対象人口
竹野川衛生センター	23,287件	14,046kl	116,232千円	13,384人
網野衛生センター	14,701件	9,820kl	直営	9,358人
久美浜衛生センター	4,967件	4,049kl	31,699千円	3,858人
合計	42,955件	27,915kl	147,931千円	26,600人

主な財源	手数料	し尿処理手数料	100,169千円
	繰入金	地域の元気づくり基金繰入金	10,500千円

評価・課題等 ○収集運搬車関連備品(業務管理システム、し尿収集運搬車)の整備により安定したし尿収集運搬業務を行うことができた。
○計画収集や口座振替について作業及び受付時に啓発することにより、し尿収集運搬の効率を上げることができた。今後、下水道への接続や人口減等によりし尿収集件数が減少する中で事業の効率化を図るため、計画収集・口座振替の積極的な推進を図る必要がある。

事業所管課 市民部/衛生センター

予算科目	04衛生費	02清掃費	03し尿処理費	03網野衛生センター管理運営事業	
細事業名	01 網野衛生センター管理運営事業			決算書	P.214
総合計画	基本方針 II 環境循環都市		計画項目	③ ごみ・廃棄物対策	
決算額	①	最終予算額	②	不用額	(②-①)
91,820千円		91,864千円		44千円	
				執行率	(参考)当初予算額
				99.9%	89,287千円

目的 網野町域のし尿及び浄化槽汚泥の処理業務を行う。

主要な 事務・ 事業及 び成果 の概要	○施設管理	72,253千円
	・施設運転管理経費(薬品、A重油、電気代等)	37,807千円
	・施設運転管理委託料(施設管理、受付事務)	29,808千円
	・貯留槽清掃委託料	3,376千円
	・火災保険料	26千円
	・その他施設管理経費 (消防設備等保守点検委託料、自家用工作物保安管理業務委託料等)	1,236千円
	○公用車管理及び工事	19,567千円
	・公用車維持管理経費(軽トラック1台)	127千円
	(修繕料、登録手数料、自動車損害保険料)	
	・施設設備改修工事費 (オゾン設備、ポンプ・ブロワ点検、乾燥焼却整備等)	19,440千円

[し尿及び浄化槽汚泥処理実績]

区分	し尿		浄化槽汚泥	
	収集件数	処理量	収集件数	処理量
網野町	14,701件	9,820kl	862件	2,589kl

主な財源	手数料	し尿処理手数料	40,678千円
	手数料	浄化槽汚泥処理手数料	2,164千円
	府補	未来づくり交付金(網野衛生センター施設整備事業)	260千円
	繰入金	地域の元気づくり基金繰入金	12,600千円

評価・課題等 ○し尿及び浄化槽汚泥について、処理業務を停滞させることなく管理運営することができた。
○昭和62年4月から稼働している施設であり、今後も廃棄物処理施設長寿命化計画に沿って、徹底した維持管理に努め、必要最小限の修繕により、施設の存続を図る必要がある。

事業所管課 市民部/衛生センター

予算科目	04衛生費	02清掃費	03し尿処理費	04竹野川衛生センター-管理運営事業		
細事業名	01 竹野川衛生センター-管理運営事業			決算書 P.214		
総合計画	基本方針 II 環境循環都市		計画項目	③ ごみ・廃棄物対策		
決算額	①	最終予算額	②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額
163,556千円		163,730千円		174千円	99.8%	163,381千円

目的 峰山町、大宮町、丹後町、弥栄町域のし尿及び浄化槽汚泥（網野町域浄化槽汚泥の一部含む）の処理業務並びに市内の下水道汚泥の焼却処理を行う。

主要な業務・事業及び成果の概要

○施設管理	119,670千円
・施設運転管理経費（薬品、A重油、電気代等）	76,842千円
・施設運転管理委託料（施設管理、受付事務）	35,510千円
・貯留槽清掃委託料	1,854千円
・火災保険料	41千円
・その他施設管理経費 （消防設備等保守点検委託料、自家用工作物保安管理業務委託料等）	5,423千円
○公用車管理及び工事等	43,886千円
・公用車維持管理経費（3tダンプ1台、軽自動車1台）	458千円
（燃料費、修繕料、登録手数料、自動車損害保険料、自動車重量税）	
・施設設備改修工事費 （前処理設備、水処理設備、高度処理設備等）	42,228千円
・地元対策交付金	1,200千円

[し尿及び浄化槽汚泥処理実績] (単位：件、kl) [下水道汚泥処理実績]

区分	し尿		浄化槽汚泥		施設名	処理量(t)
	収集件数	処理量	収集件数	処理量		
峰山町	9,359	5,520	789	2,285	峰山・大宮浄化センター	670
大宮町	8,371	5,108	665	1,722	橋浄化センター	100
網野町	—	—	91	374	丹後浄化センター	82
丹後町	4,844	3,049	335	1,150	農業集落排水施設(弥栄町)	283
弥栄町	713	369	117	308	久美浜浄化センター	378
合計	23,287	14,046	1,997	5,839	網野浄化センター	30
					合計	1,543

主な財源

手数料	し尿処理手数料	68,187千円
手数料	浄化槽汚泥処理手数料	4,893千円
府補	未来づくり交付金（竹野川衛生センター施設整備事業）	560千円
繰入金	地域の元気づくり基金繰入金	33,200千円
諸収入	下水汚泥処理料	20,834千円

評価・課題等

○し尿及び浄化槽汚泥並びに下水道汚泥について、処理業務を停滞させることなく管理運営することができた。
○平成11年4月から稼動している施設であり、今後も廃棄物処理施設長寿命化計画に沿って、徹底した維持管理に努め、必要最小限の修繕により、施設の存続を図る必要がある。

事業所管課 市民部／衛生センター

予算科目	04衛生費	02清掃費	03し尿処理費	05久美浜衛生センター-管理運営事業		
細事業名	01 久美浜衛生センター-管理運営事業			決算書 P.216		
総合計画	基本方針 II 環境循環都市		計画項目	③ ごみ・廃棄物対策		
決算額	①	最終予算額	②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額
70,135千円		71,381千円		1,246千円	98.2%	75,542千円

目的 久美浜町域のし尿及び浄化槽汚泥（網野町域浄化槽汚泥の一部含む）の処理業務を行う。

主要な業務・事業及び成果の概要

○施設管理	70,135千円
・施設運転管理経費（薬品、電気代、修繕料等）	8,925千円
・施設運転管理委託料（施設管理、受付事務）	9,940千円
・貯留槽清掃委託料	1,733千円
・火災保険料	27千円
・下水道使用料 （前処理後、久美浜浄化センターで処理）	48,605千円
・その他施設管理経費 （消防設備等保守点検委託料、自家用工作物保安管理業務委託料等）	905千円

[し尿及び浄化槽汚泥処理実績]

区分	し尿		浄化槽汚泥	
	収集件数	処理量	収集件数	処理量
久美浜町	4,967件	4,049kl	684件	3,240kl
網野町	—	—	67件	383kl
合計	4,967件	4,049kl	751件	3,623kl

主な財源

手数料	し尿処理手数料	39,416千円
手数料	浄化槽汚泥処理手数料	3,030千円

評価・課題等

○し尿及び浄化槽汚泥について、処理業務を停滞させることなく管理運営することができた。
○平成元年4月から稼動している施設であり、今後も廃棄物処理施設長寿命化計画に沿って、徹底した維持管理に努め、必要最小限の修繕により、施設の存続を図る必要がある。

事業所管課 市民部／衛生センター